

平成 30 年度札幌市子どもに関する実態・意識調査結果について

1 概要

＜調査結果から見える現状・課題・視点・取組の方向性＞ …… **資料 2-1**

子どもの権利推進の視点

子どもの権利保障の基本的な考え方を調査結果から大きく 4 点に整理したものです。

- 1 **子どもの意識（自己肯定感等）**
…子どもの視点に立った取組の推進（自己肯定感、周囲からの受容感等の全体的向上）
- 2 **保護者の子どもへの関わり**
…保護者等への啓発（「主体性の尊重」と「必要に応じた保護」のバランスの観点）
- 3 **大人から見た子どもの印象**
…地域等の子どもと大人の関わりの促進（「見えにくくなっている子ども」）
- 4 **子どもの権利の保障**
…「権利侵害からの救済」とともに「お互いの権利を尊重する意識の向上」を推進

取組の方向性

今後の取組のポイントを整理したものです。具体的な工夫やアイデアなどお聞かせください。

- 1 **子どもの権利の普及・啓発**
…子育てのヒントや働きかけを交えた効果的な広報の実施
…学校を通じた広報のほか、乳幼児の保護者、子どもに関わる大人への広報の強化
- 2 **子どもの意見表明・参加**
…様々な機会を捉えた、地域等の子どもの参加の促進
…分かりやすい・親しみやすい情報発信
- 3 **子どもの安心**
…子ども同士の理解・尊重・支え合いの促進
…子どもの参加や居場所を通じた地域の子どもと大人の関わりの促進
- 4 **子どもの権利侵害からの救済**
…相談窓口の周知の強化、相談対応事例を踏まえた権利・救済の理解向上
…相談方法の見直しを含む、気軽に相談しやすい体制づくり

＜前回調査との比較＞ …… **資料 2-2**

H21、H25、H30 調査の経年変化として、比較可能な主項目について掲載。

＜指定項目のクロス集計＞ …… **資料 2-3**

前回の会議（H31. 3. 13）で挙げた指定項目のクロス集計結果について掲載。

2 スケジュール（予定）

- 9 月 計画素案の検討（子どもの権利委員会）
- 10 月 計画案の検討（子どもの権利委員会）
- 12 月 パブリックコメント・キッズコメント実施
- 3 月 計画策定

参考：現行第 2 次計画の構成（新・さっぽろ子ども未来プランの基本目標 1 の位置づけ）

- 基本目標 1：子どもの権利を大切にす意識の向上 ……普及・啓発、学校の教育活動等
- 基本目標 2：子どもの意見表明・参加の促進 ……市政や学校、地域等での参加、体験等
- 基本目標 3：子どもを受け止め、育む環境づくり ……母子保健、居場所、いじめ・不登校対策等
- 基本目標 4：子どもの権利の侵害からの救済 ……子どもアシストセンター、虐待対応等

<調査結果から見える現状・課題・視点・取組の方向性>

子どもの権利推進の視点

1 子どもの意識（自己肯定感等）

現状・課題

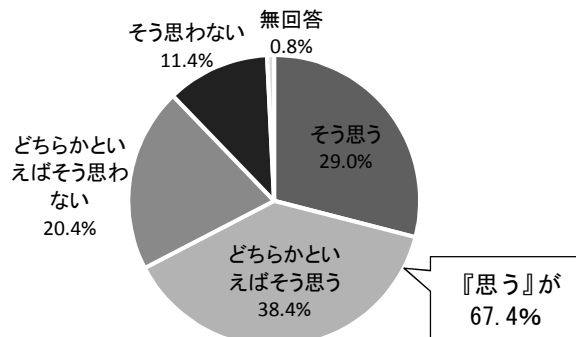
- ・「自分のことが好き」と思う子どもの割合は67.4%と、前回調査から上昇（H25は65.4%）。「大切に思ってくれる人がいる」など他の関連項目では、肯定的な回答がより多い傾向。
- ・クロス集計結果から、これらの自己肯定感、周囲からの受容感、意見表明の達成感、相談・解決に向けた意識など、関連項目は相互に連動している傾向が見られる。

視点

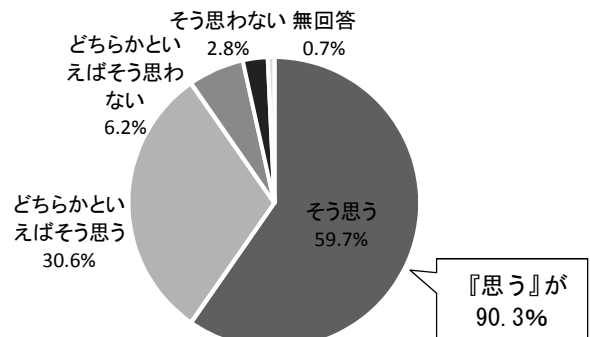
- ・子ども自身がどう感じているかの視点に立って、子どもの権利（安心、自分らしさ、豊かな育ち、参加・意見表明）の取組を進める必要。
- ・自己肯定感、周囲からの受容感、意見表明の達成感、相談・解決に向けた意識など、相互の関連性を踏まえ、全体的な向上を目指す。

集計①：子どもの自己肯定感等（子ども問10、n=1,662）（単一回答）

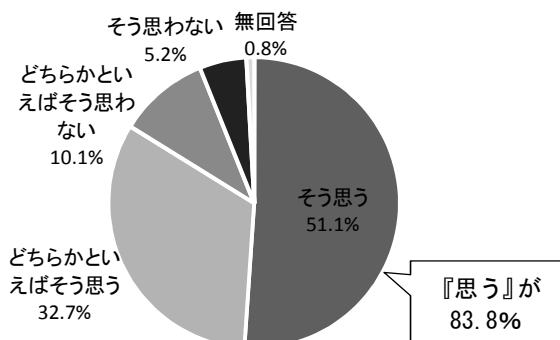
【子ども】自分のことが好き



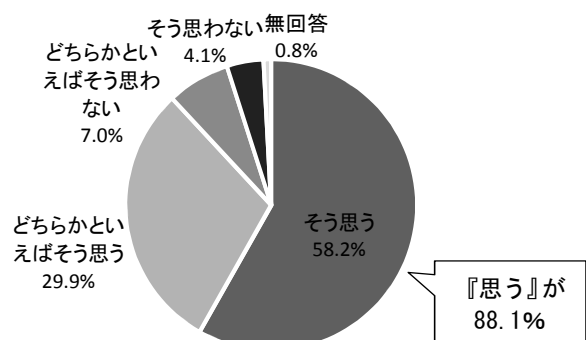
【子ども】自分を大切に思ってくれる人がいる



【子ども】自分の考えや意見を聞いてもらってうれしかったことがある



【子ども】困ったときには人に相談してみるのも大事だと思う



集計②：子どもの自己肯定感等のクロス集計

【子ども】（子ども問 10、n=1,662）（子ども問 10「自分のことが好き」とのクロス集計）

- ・自分を大切に思ってくれる人がいる
- ・自分の考えや意見を聞いてもらってうれしかったことがある
- ・困ったときには人に相談してみるのも大事だと思う

（「大切に思ってくれる人がいる」「考えや意見を聞いてもらってうれしかったことがある」「困ったときは人に相談してみるのも大事だと思う」子どもは、「自分のことが好きと思う」回答割合が高い傾向。）

| | | 実数(割合%) | | | |
|-----------------------------|--------------------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| | | 自分のことが好き | | | |
| | | 全体 | 思う | 思わない | 無回答 |
| 自分を大切に思ってくれる人がいる | そう思う | 992 (100.0%) | 804 (81.0%) | 185 (18.6%) | 3 (0.3%) |
| | どちらかといえば そう思う | 509 (100.0%) | 284 (55.8%) | 224 (44.0%) | 1 (0.2%) |
| | どちらかといえば そう思わない | 103 (100.0%) | 25 (24.3%) | 78 (75.7%) | 0 (0.0%) |
| | そう思わない | 46 (100.0%) | 7 (15.2%) | 38 (82.6%) | 1 (2.2%) |
| | 無回答 | 12 (100.0%) | 0 (0.0%) | 4 (33.3%) | 8 (66.7%) |
| 自分の考えや意見を聞いてもらってうれしかったことがある | そう思う | 849 (100.0%) | 642 (75.6%) | 204 (24.0%) | 3 (0.4%) |
| | どちらかといえば そう思う | 544 (100.0%) | 370 (68.0%) | 173 (31.8%) | 1 (0.2%) |
| | どちらかといえば そう思わない | 168 (100.0%) | 80 (47.6%) | 87 (51.8%) | 1 (0.6%) |
| | そう思わない | 87 (100.0%) | 25 (28.7%) | 62 (71.3%) | 0 (0.0%) |
| | 無回答 | 14 (100.0%) | 3 (21.4%) | 3 (21.4%) | 8 (57.1%) |
| 困ったときには人に相談してみるのも大事だと思う | そう思う | 967 (100.0%) | 743 (76.8%) | 220 (22.8%) | 4 (0.4%) |
| | どちらかといえば そう思う | 497 (100.0%) | 308 (62.0%) | 188 (37.8%) | 1 (0.2%) |
| | どちらかといえば そう思わない | 116 (100.0%) | 47 (40.5%) | 69 (59.5%) | 0 (0.0%) |
| | そう思わない | 68 (100.0%) | 20 (29.4%) | 48 (70.6%) | 0 (0.0%) |
| | 無回答 | 14 (100.0%) | 2 (14.3%) | 4 (28.6%) | 8 (57.1%) |

※「思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計

※「思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計

2 保護者の子どもへの関わり

現状・課題

- ・保護者の子どもへの関わりとして、子どもの意見や考えなど主体性を尊重しながら、必要な声かけや手助けをする姿勢が見られる。
- ・子ども側の回答傾向も同様であり、クロス集計結果から、保護者の関わり方と自己肯定感等との関連性もうかがえる。

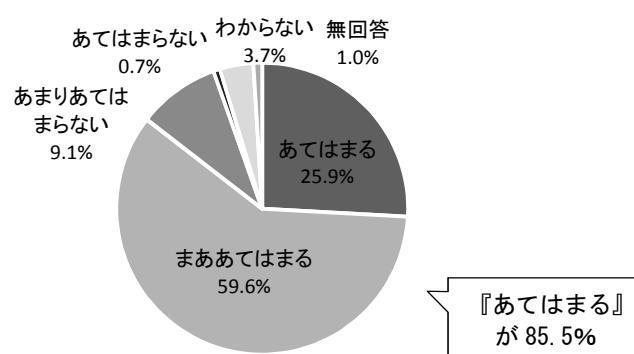
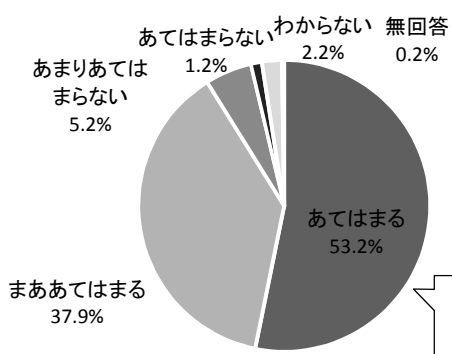
視点

- ・条例の趣旨も踏まえ、子育てなど大人の子どもの関わりの中では、子どもの主体性の尊重と、必要に応じた保護・支援のバランスが重要。
- ・新たに保護者となる方々を始め、子どもと関わる大人への普及・啓発を一層進める。

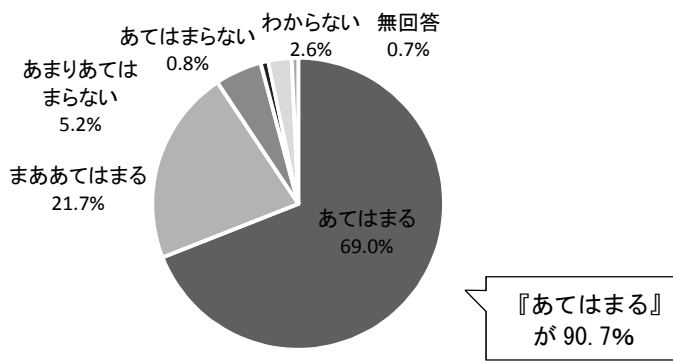
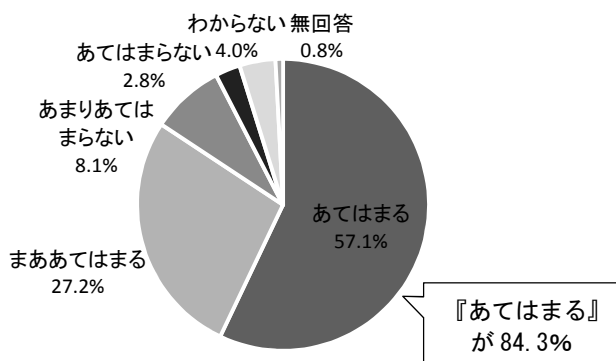
集計①：保護者の子どもへの関わり

(大人問 7 (高校生以下の子どもがいる大人)、n=406) (子ども問 12、n=1,662) (単一回答)

【保護者】不安な様子をしていたら声かけする 【保護者】できるだけ子どもの考えや意見を理解し、尊重する



【子ども】困ったときはなぐさめたり、背中を押してくれる 【子ども】まじめな話はちゃんと聞いてくれる



集計②：保護者の関わり方のクロス集計

【子ども】（子ども問 12、n=1,662）（子ども問 10「自分のことが好き」とのクロス集計）

- ・困ったときはなぐさめたり、背中を押してくれる
- ・まじめな話はちゃんと聞いてくれる
- ・色々な活動や交流への参加をうながしてくれる
- ・自分のことをちゃんと考えてくれる

（保護者が「困ったときはなぐさめたり、背中を押してくれる」「まじめな話はちゃんと聞いてくれる」「色々な活動や交流への参加をうながしてくれる」「自分のことをちゃんと考えてくれる」子どもは、「自分のことが好きと思う」回答割合が高い傾向。）

| | | 実数(割合%) | | | |
|------------------------|------------|---------------|-------------|-------------|-----------|
| | | 自分のことが好き | | | |
| | | 全体 | 思う | 思わない | 無回答 |
| 困ったときはなぐさめたり、背中を押してくれる | あてはまる | 949 (100.0%) | 722 (76.1%) | 222 (23.4%) | 5 (0.5%) |
| | まああてはまる | 452 (100.0%) | 279 (61.7%) | 171 (37.8%) | 2 (0.4%) |
| | あまりあてはまらない | 135 (100.0%) | 66 (48.9%) | 69 (51.1%) | 0 (0.0%) |
| | あてはまらない | 46 (100.0%) | 21 (45.7%) | 25 (54.3%) | 0 (0.0%) |
| | 無回答等 | 80 (100.0%) | 32 (40.0%) | 42 (52.5%) | 6 (7.5%) |
| まじめな話はちゃんと聞いてくれる | あてはまる | 1147 (100.0%) | 836 (72.9%) | 305 (26.6%) | 6 (0.5%) |
| | まああてはまる | 360 (100.0%) | 206 (57.2%) | 153 (42.5%) | 1 (0.3%) |
| | あまりあてはまらない | 86 (100.0%) | 45 (52.3%) | 41 (47.7%) | 0 (0.0%) |
| | あてはまらない | 14 (100.0%) | 9 (64.3%) | 5 (35.7%) | 0 (0.0%) |
| | 無回答等 | 55 (100.0%) | 24 (43.6%) | 25 (45.5%) | 6 (10.9%) |
| 色々な活動や交流への参加をうながしてくれる | あてはまる | 523 (100.0%) | 414 (79.2%) | 106 (20.3%) | 3 (0.6%) |
| | まああてはまる | 539 (100.0%) | 374 (69.4%) | 161 (29.9%) | 4 (0.7%) |
| | あまりあてはまらない | 319 (100.0%) | 195 (61.1%) | 124 (38.9%) | 0 (0.0%) |
| | あてはまらない | 161 (100.0%) | 83 (51.6%) | 76 (47.2%) | 2 (1.2%) |
| | 無回答等 | 120 (100.0%) | 54 (45.0%) | 62 (51.7%) | 4 (3.3%) |
| 自分のことをちゃんと考えてくれる | あてはまる | 1113 (100.0%) | 842 (75.7%) | 266 (23.9%) | 5 (0.4%) |
| | まああてはまる | 389 (100.0%) | 214 (55.0%) | 174 (44.7%) | 1 (0.3%) |
| | あまりあてはまらない | 66 (100.0%) | 30 (45.5%) | 35 (53.0%) | 1 (1.5%) |
| | あてはまらない | 14 (100.0%) | 5 (35.7%) | 9 (64.3%) | 0 (0.0%) |
| | 無回答等 | 80 (100.0%) | 29 (36.3%) | 45 (56.3%) | 6 (7.5%) |

※「思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計

※「思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計

3 大人から見た子どもの印象

現状・課題

- ・子どもを取り巻く課題として「SNSやインターネット、ゲーム」や「いじめ」が多く挙げられるとともに、子どもと周囲の大人の関わりが不足している印象。
- ・不安や悩みを抱えこみやすい子どものイメージもあり、周囲の大人から子どもが見えにくくなっている傾向がうかがえる。

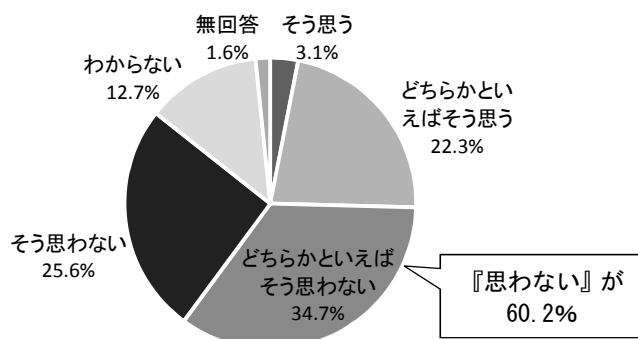
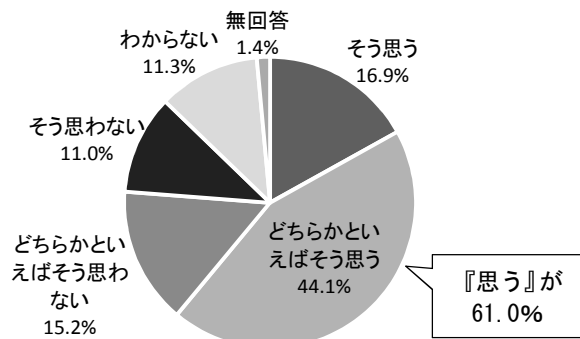
視点

- ・周囲の大人と子どもの関わりは、子どもの学びや経験、参加・意見表明、悩みや不安への気づきや支えの機会として、子どもの豊かな育ちに寄与すると考えられる。
- ・家庭や学校以外にも、地域とのつながりなど、子どもと大人の関わるの機会を増やす。

集計①：子どもの印象（大人問5、n=1,589）（単一回答）

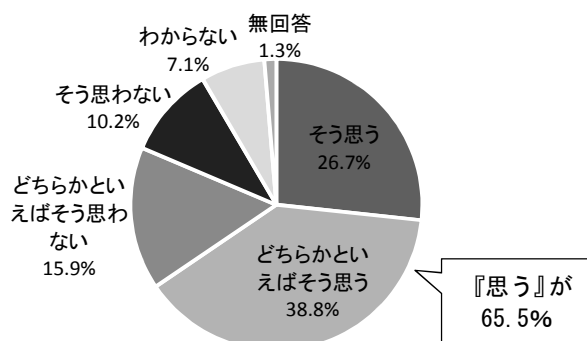
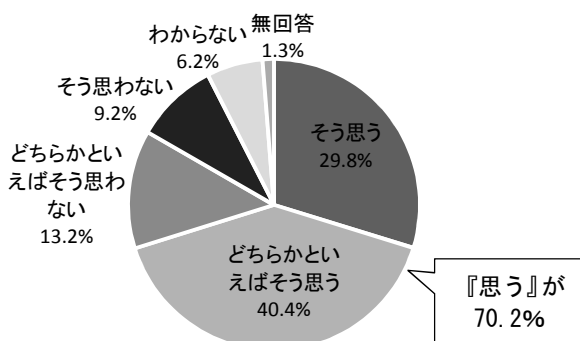
【大人】不安や悩みを抱えこみやすい

【大人】周囲の大人は子どもの思いや考えに配慮できている



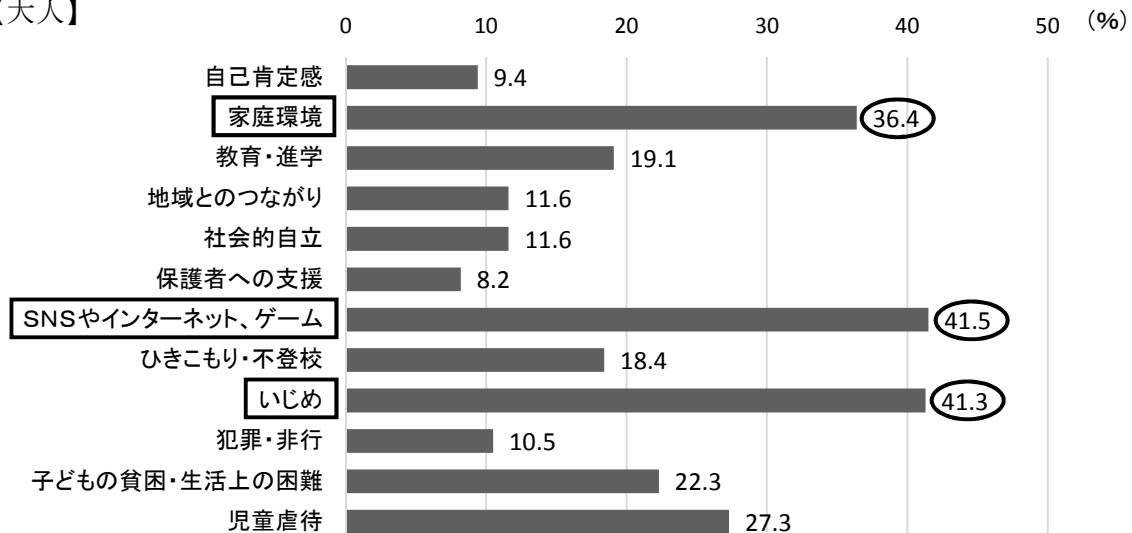
【大人】共働きなどで保護者と過ごす時間が足りない

【大人】家庭や学校以外に大人と関わる機会が少なすぎる



集計②：子どもを取り巻く課題として特に重要と思うもの（大人問4、n=1,589）（複数回答）

【大人】



4 子どもの権利の保障

現状・課題

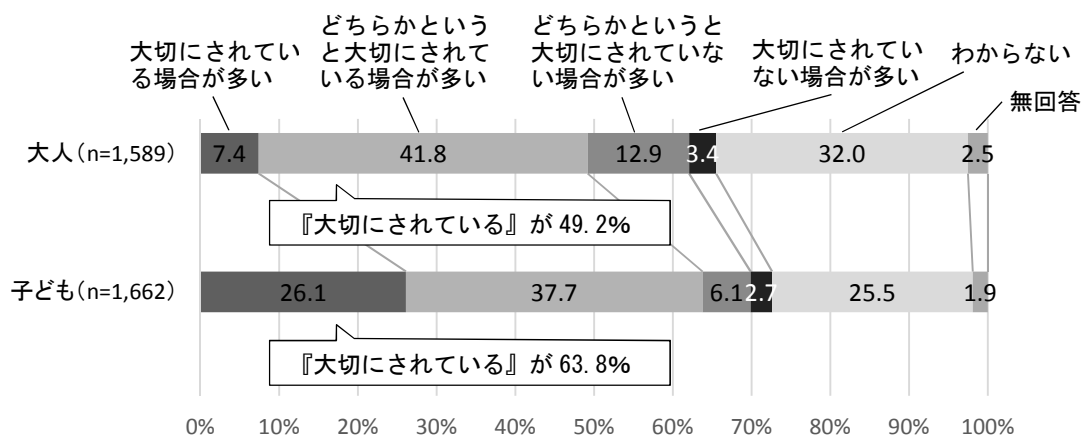
- ・子どもの権利が大切にされていると思う人の割合は、大人 49.2%、子ども 63.8%と、前回調査から大人は横ばい、子どもは上昇（H25 は大人 49.1%、子ども 57.0%）。
- ・大切にされていない権利として回答が多いのは以下の3項目。
 - －いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること
 - －障がい、民族、国籍、性別、家族のことなど、どんな理由にせよ、差別を受けないこと
 - －個性や他人との違いを認められ、一人の人間として尊重されること
- ・「権利侵害からの救済」と「個々の権利の尊重」の必要性がうかがえる。
- ・いずれも、個々の多様性を認め、お互いを尊重し合う姿勢として共通。

視点

- ・いじめ・虐待、差別などの人権侵害からの救済を着実に進めるとともに、全体として「お互いの違いを認め、尊重し合う意識の向上」を図る。
- ・障がいや国籍、性別を始め、個々の多様性を認識した上で、お互いを尊重するとともに、一人一人の成長や自立のために必要な配慮や支援を行うという、子どもの権利にとどまらない基本的な人権理解の視点をもって、取組を進める。

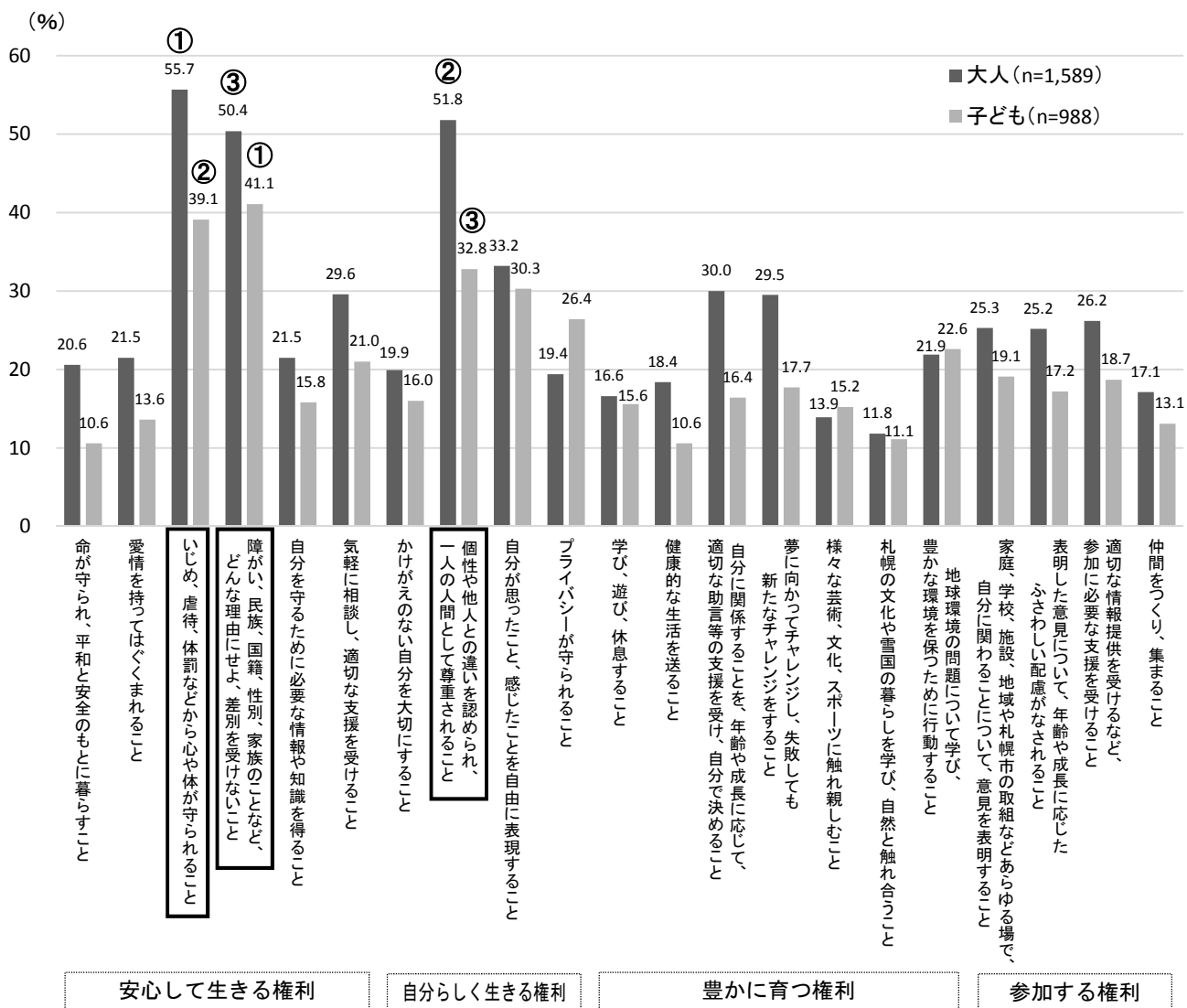
集計①：子どもの権利が大切にされていると思うか（大人問 22、子ども問 23・24）（単一回答）

【大人・子ども】



集計②：大切にされていないと思う権利（大人問 21、子ども（13-18 歳）問 23）（複数回答）

【大人・子ども】



取組の方向性

1 子どもの権利の普及・啓発

現状・課題

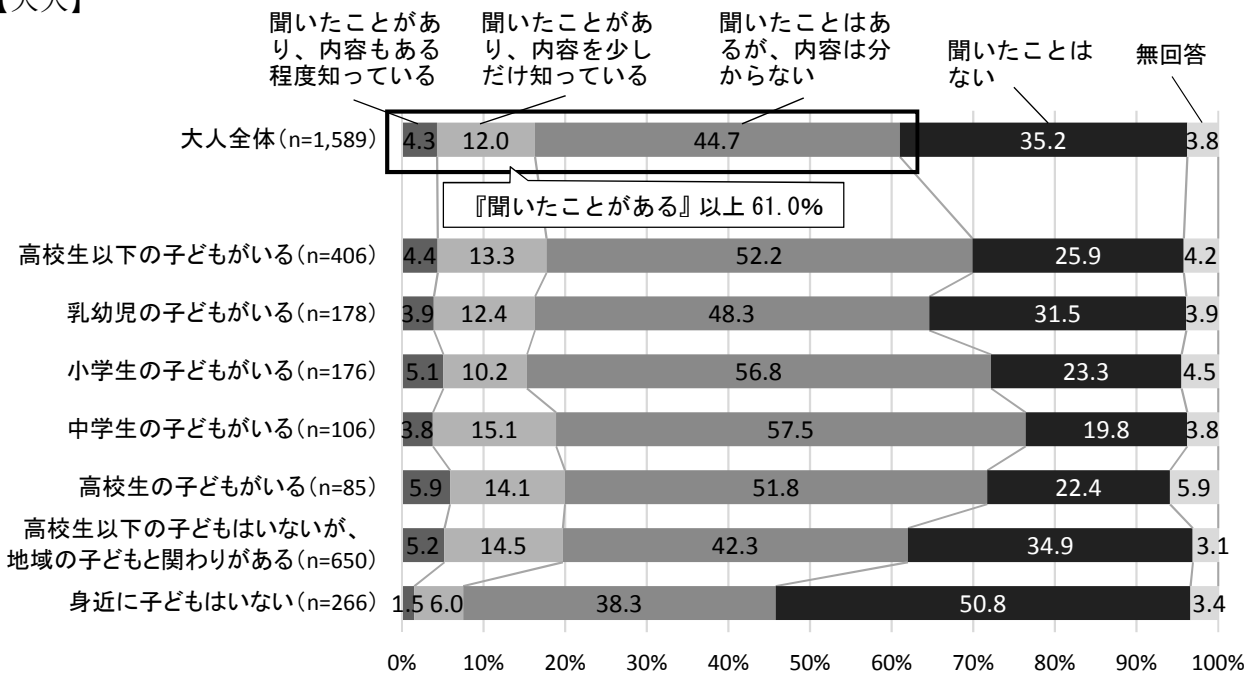
- ・子どもの権利の認知度（「聞いたことがある」以上）は、大人 61.0%、子ども 61.4%と、いずれも前回調査から上昇（H25 大人 54.0%、子ども 40.2%）。
- ・子どもは10-12歳より13-18歳の方が高く、大人は小・中・高校生の子どもがいる保護者の認知度が高い一方、乳幼児の保護者の認知度は比較的低い。
- ・子どもへは学校を通じた啓発効果が大きい。
- ・保護者は子どもを通じて学校から情報を得る機会が多く、子どもと関わりが少ない大人は新聞などの報道からが多い。

取組の方向性

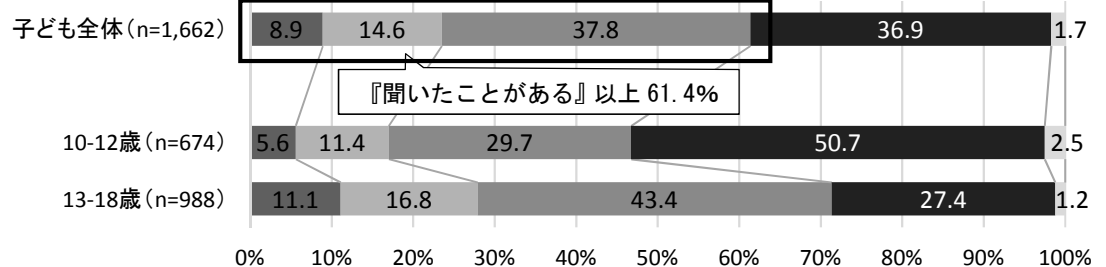
- ・対象者の年齢や状況に応じた読みやすさや、子育てのヒントや気づきにつながる工夫、様々な働きかけを交えた効果的な広報を行う。
- ・学校を通じた広報・学習を継続するほか、乳幼児の保護者等への広報を強化する。
- ・様々なかたちで子どもに関わる大人への広報を進める。（地域、幼稚園、保育所など）

集計①：子どもの権利の認知度（大人問 18、子ども問 20）（単一回答）

【大人】



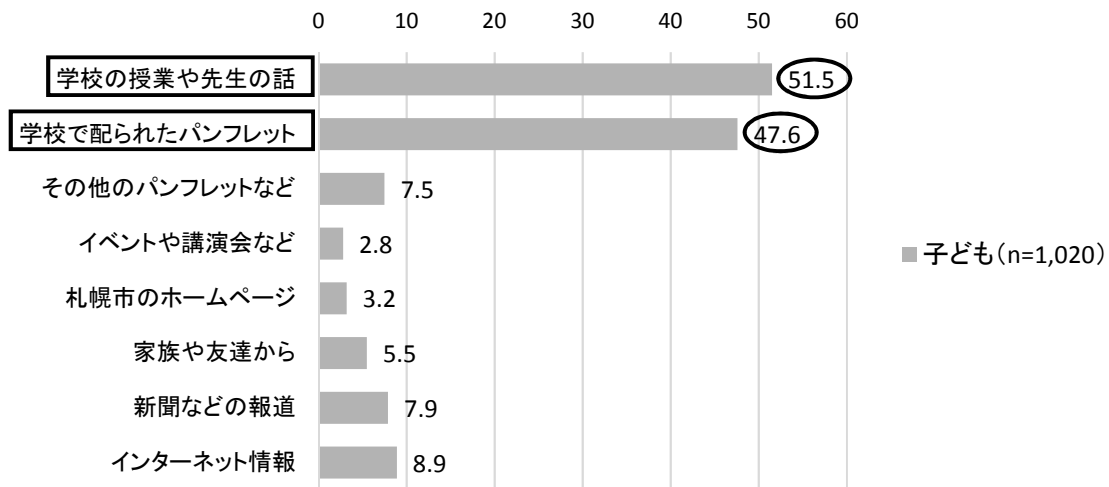
【子ども】



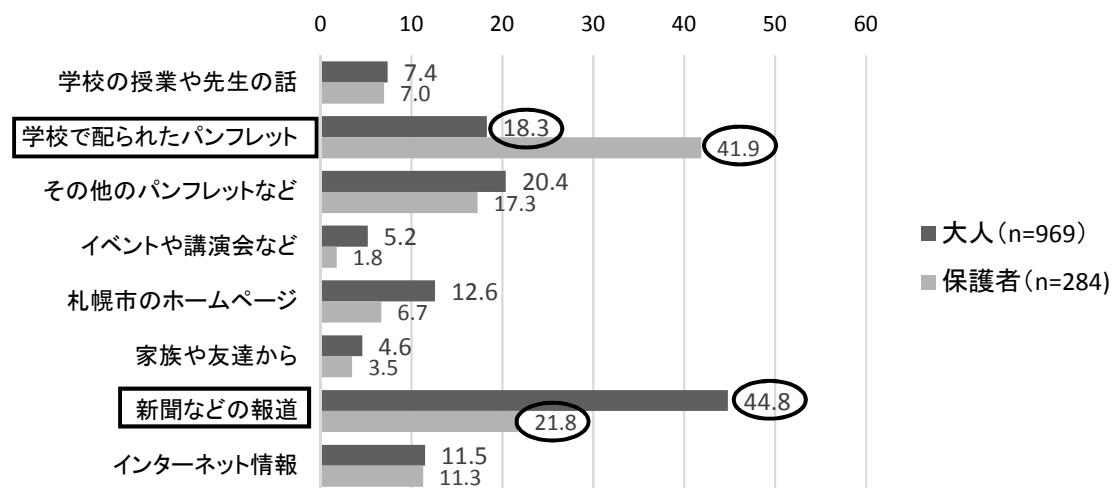
集計②：子どもの権利を何で知ったか

【子ども】（子ども問 21）（複数回答）

(%)



【大人】（大人問 19（全体 n=969、高校生以下の子どもがいる大人 n=284）（複数回答）



2 子どもの意見表明・参加

現状・課題

- ・自然・文化・スポーツ体験は比較的あるが、社会体験や地域の交流があまりなく、今後もっと必要との傾向。
- ・地域と子どもの関わりについては、困難を抱える子どもへの気づきや子どもの居場所、子どもの考えを活かした取組などがあまりなく、今後必要との傾向。
- ・家庭や学校における意見表明の機会は比較的あるが、地域や札幌市政については、「言うことができない」や「特に言いたいことがない」の割合が高い。

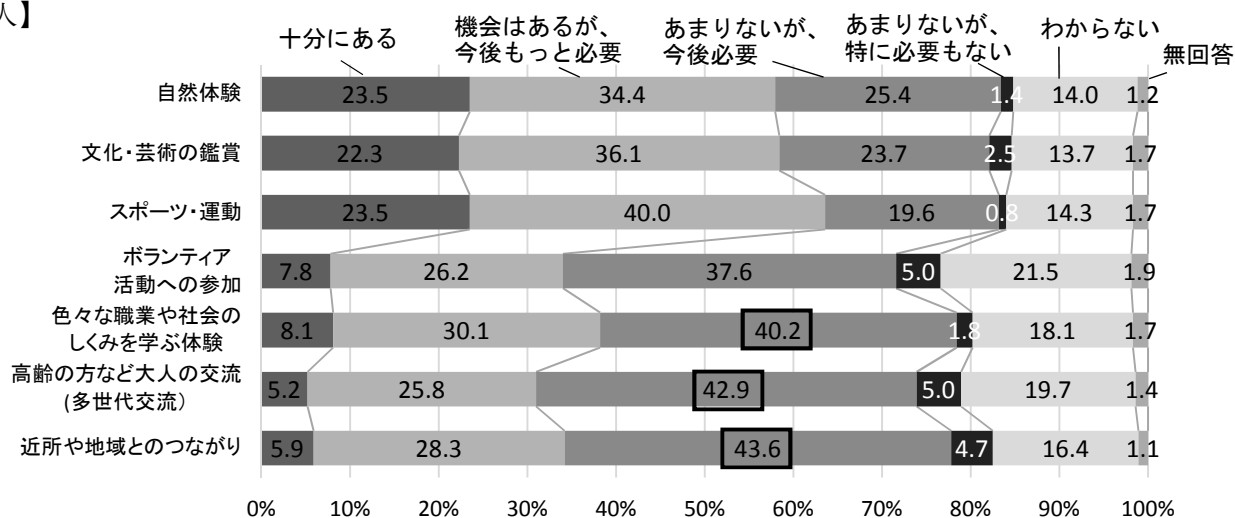
取組の方向性

- ・学校の教育活動等以外でも、地域や行政の取組の中で、子どもの主体的な参加の機会を促進する。
- ・地域の子どもが参加する行事など様々な機会を捉えて、子どもが考え、話し合い、提案する活動や子どもによる企画・運営の工夫を働きかける。
- ・子どもに分かりやすい・親しみやすい情報発信を広く働きかける。

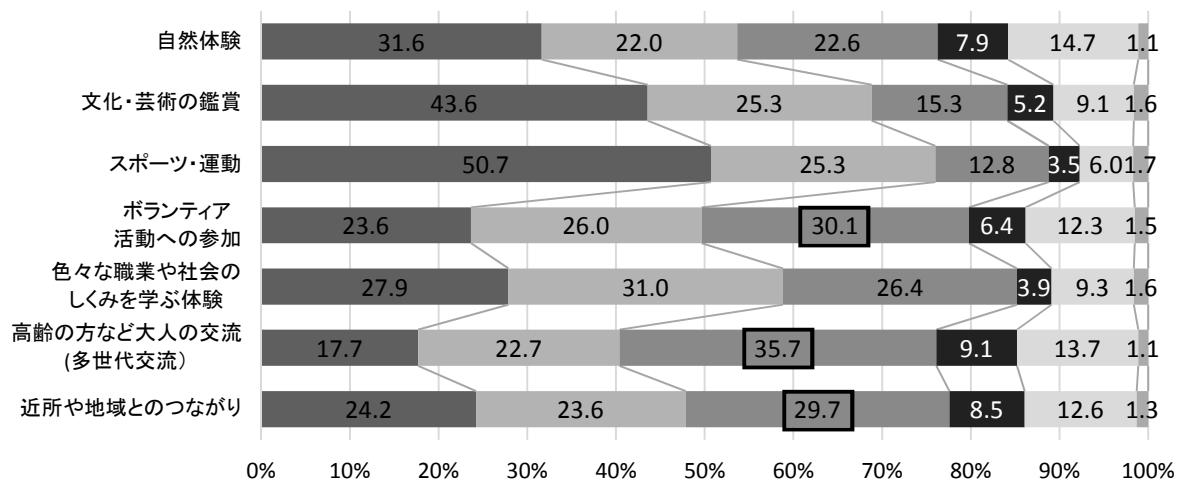
集計①：子どもが自然・社会・文化体験をする機会が十分あると思うか

(大人問 10、n=1,589、子ども問 5、n=1,662) (単一回答)

【大人】

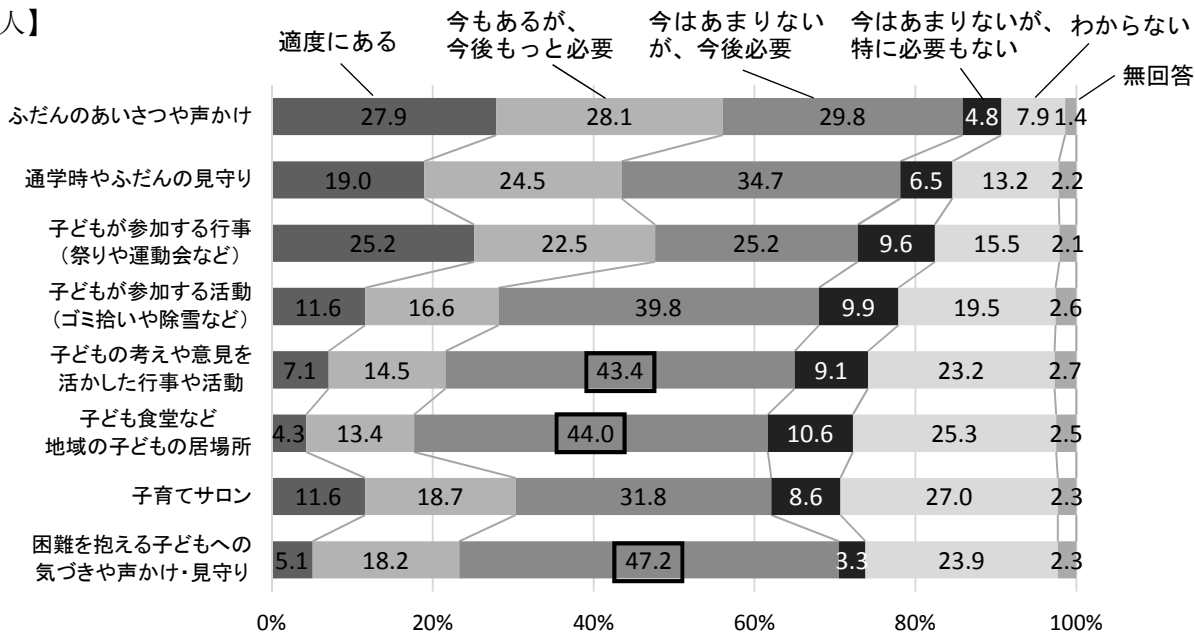


【子ども】



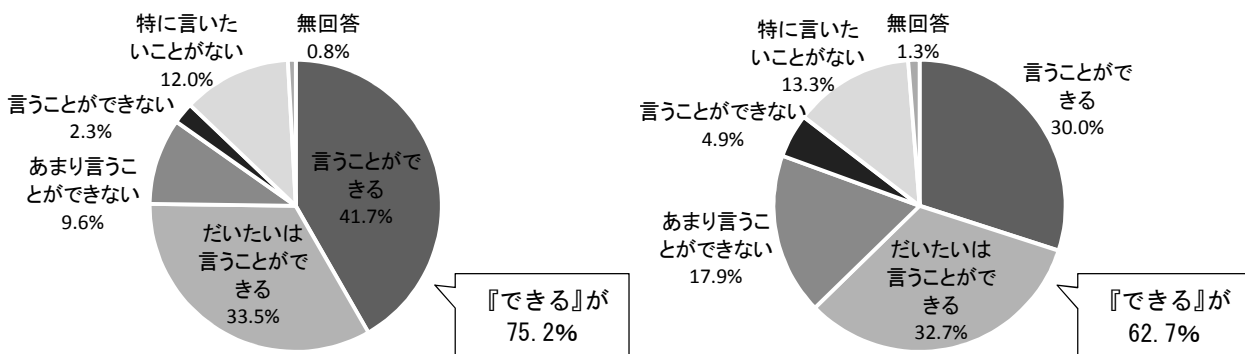
集計②：地域と子どもの関わり（大人問9、n=1,589）（単一回答）

【大人】

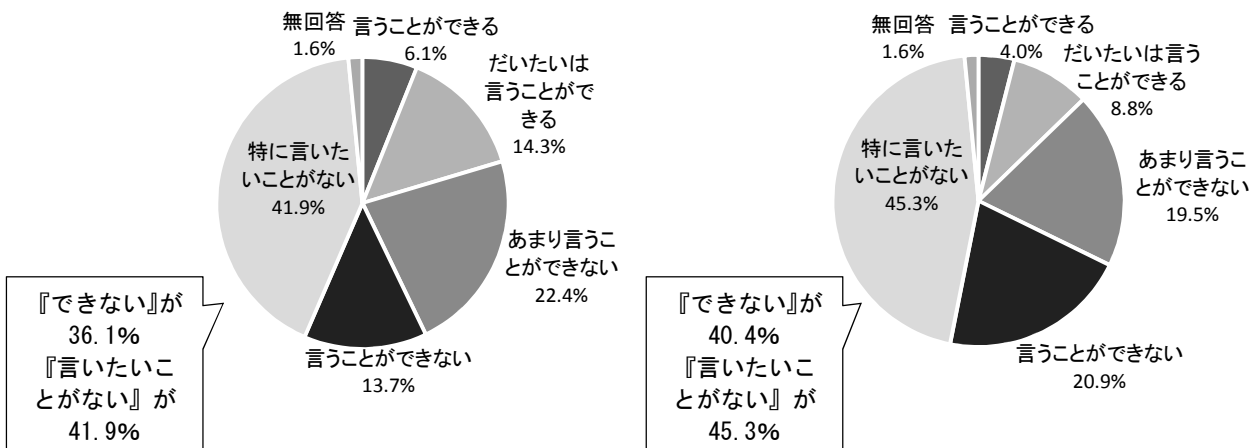


集計③：自分の考えや思いを言える機会（子ども問9、n=1,662）（単一回答）

【子ども】家庭における大事な物事やルール 【子ども】学校行事・イベントの企画や運営



【子ども】地域で行われている行事などの取組 【子ども】札幌市政（札幌市のまちづくり等）



3 子どもの安心

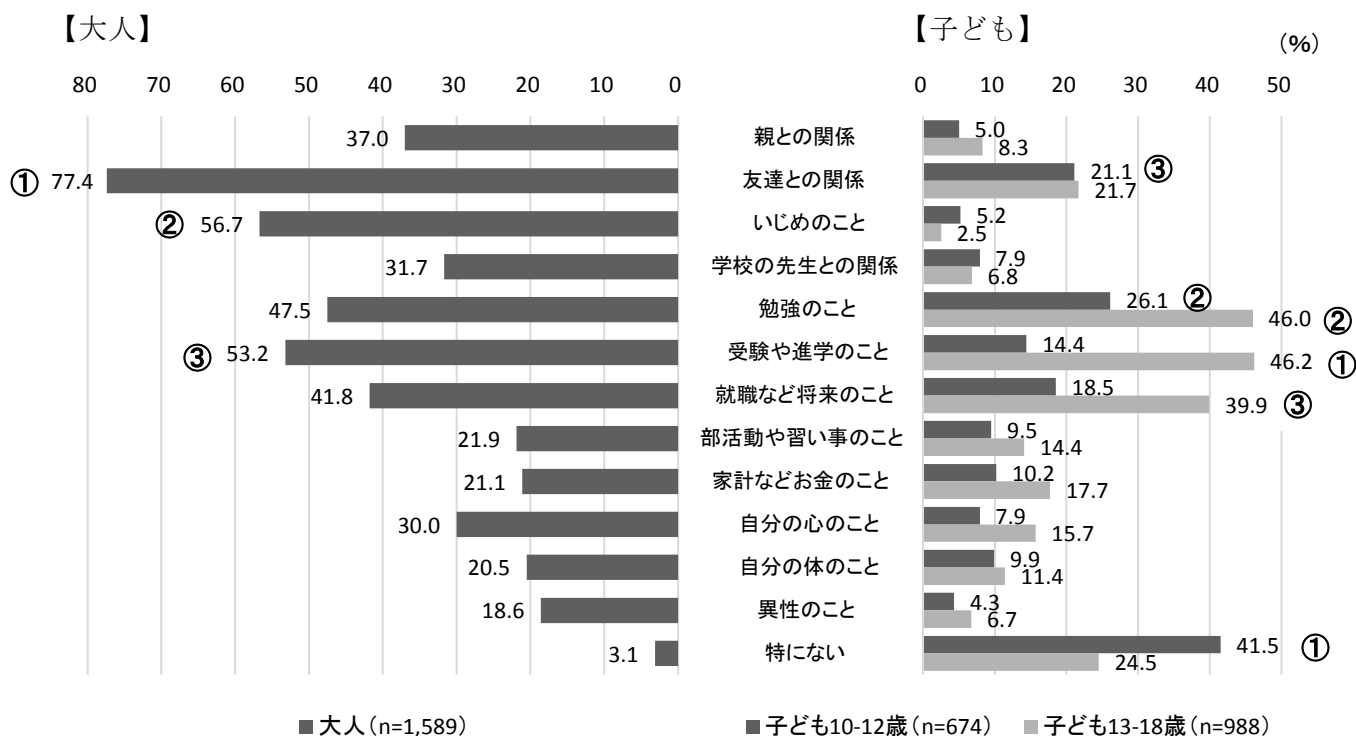
現状・課題

- ・子どもが抱える不安・悩みとして、大人の回答では友達関係やいじめ、勉強等が多く、子どもの回答では勉強等と友達関係が多い。
- ・子どもの相談相手、子どもを傷つけやすい人ともに「友達」が比較的多く、友達の存在の大きさがうかがえる。
- ・地域と子どもの関わりについては、困難を抱える子どもへの気づきや子どもの居場所、子どもの考えを活かした取組などがあまりなく、今後必要との傾向。(前項の再掲)

取組の方向性

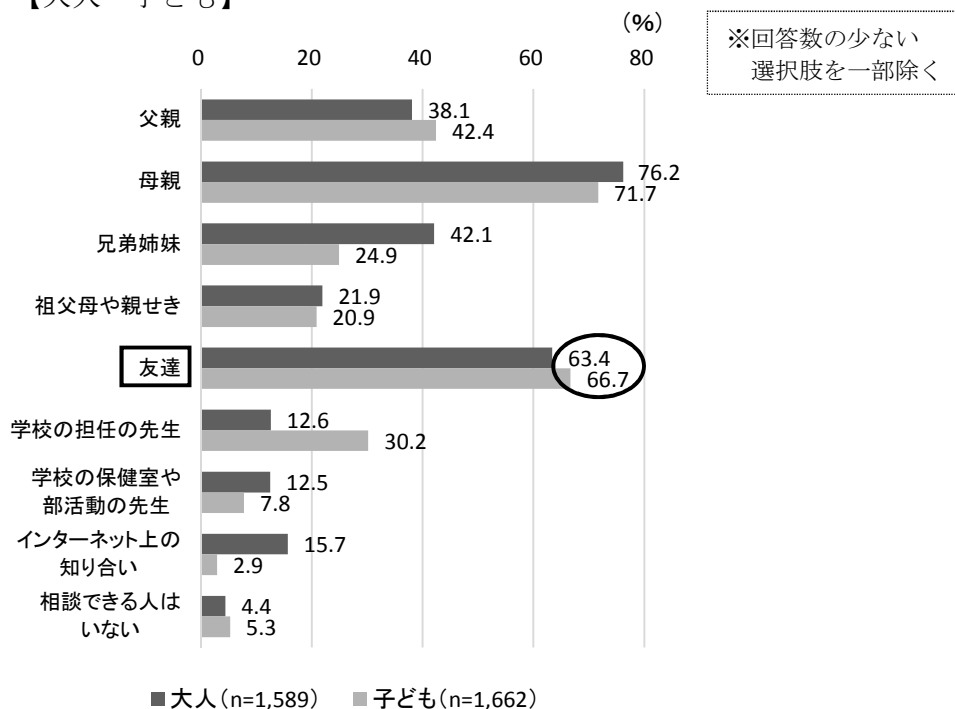
- ・身近な子ども同士がお互いを理解・尊重し、支え合うための働きかけを進める。(相互学習やいじめ防止の観点も交える。)
- ・子どもの参加や居場所づくりを通して、地域の子どもの大人との関わりを促進し、子どもの学び・経験、参加・意見表明、悩み・不安への気づき・支えの機会を増やす。

集計①：子どもの不安・悩み（大人問 13、子ども問 13）（複数回答）



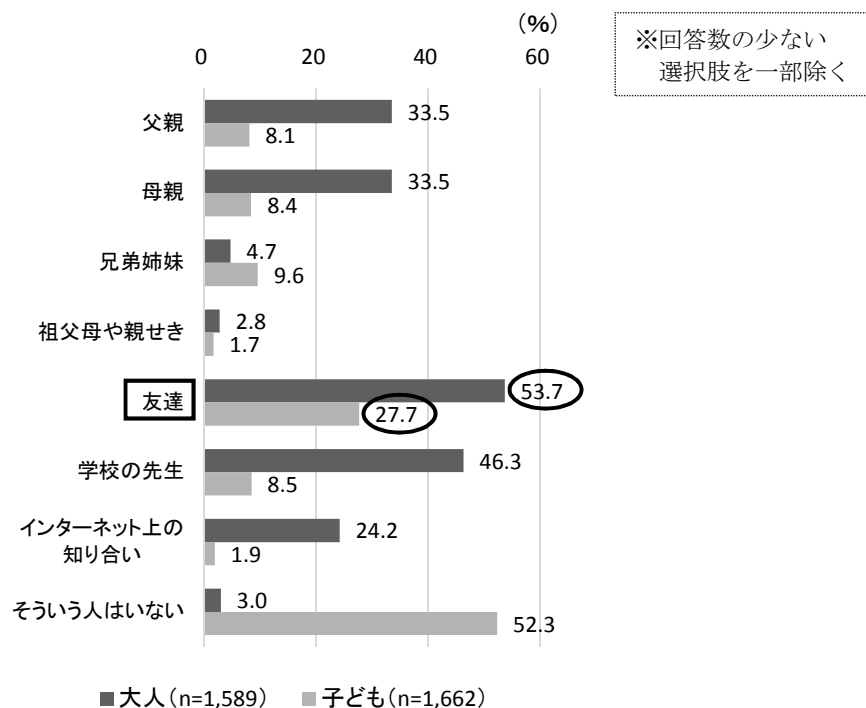
集計②：子どもの相談相手（大人問6、子ども問14）（複数回答）

【大人・子ども】



集計③：子どもを言葉や力で傷つけやすい人（大人問14、子ども問15）（複数回答）

【大人・子ども】



4 子どもの権利侵害からの救済

現状・課題

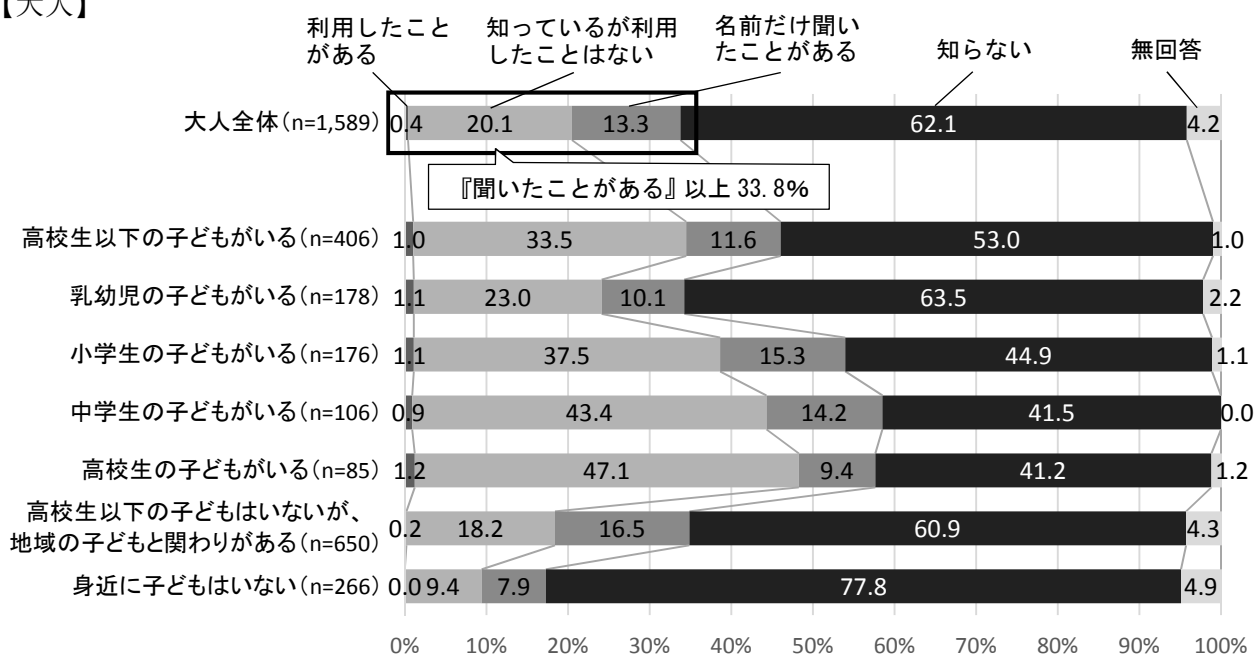
- ・子どもアシストセンターの認知度（「聞いたことがある」以上）は、大人 33.8%、子ども 62.1%と、いずれも前回調査から低下（H25 大人 38.8%、子ども 77.1%）。
- ・子どもは10-12歳より13-18歳の方が高く、大人は学齢期の子どもがいる保護者の認知度が高い。
- ・相談機関へは、相談の手段よりも対応姿勢に関する要請が多く、話を聞いて受け止め、一緒に考えてくれる寄り添い型の相談対応が求められている。
- ・日常的な情報収集・コミュニケーション手段としてのスマホ等の利用が増えている。

取組の方向性

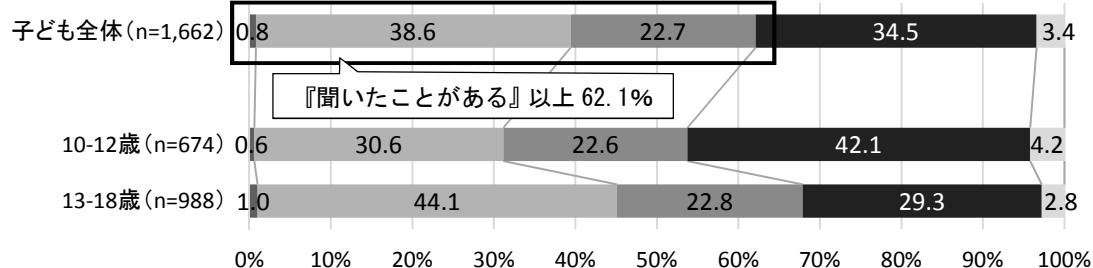
- ・相談窓口の周知とあわせ、これまでの相談対応事例を踏まえて、広く子どもの権利の尊重・権利侵害救済への理解向上を図る。
- ・スマートフォンの普及等を受けた相談方法の見直しを含め、寄り添い姿勢を継続しながら、気軽に相談しやすい体制づくりを進める。
- ・学校を通じた広報をはじめ、効果的な広報手法の検討・実施を進める。

集計①：子どもアシストセンターの認知度（大人問 15②、子ども問 16②）（単一回答）

【大人】

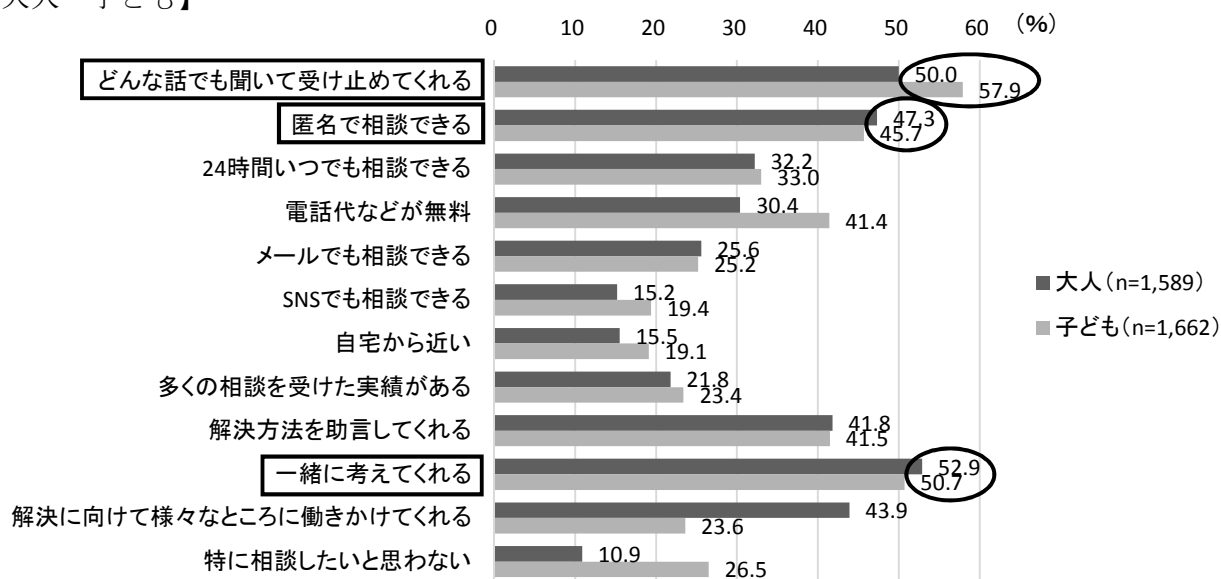


【子ども】



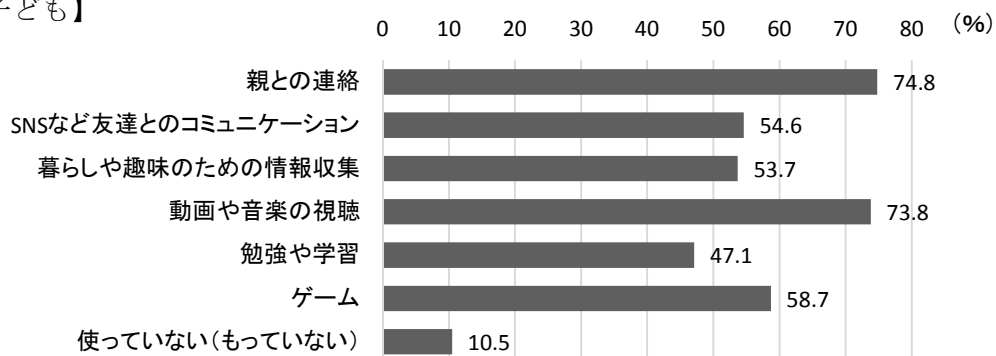
集計②：相談機関に求めること（大人問 16、子ども問 17）（複数回答）

【大人・子ども】



集計③：スマホやパソコン等の利用のしかた（子ども問 18、n=1,662）（複数回答）

【子ども】



<前回調査との比較（成果指標等）>

H21、H25、H30調査の経年変化として、比較可能な主項目について掲載している。
実施年度により一部字句修正等あるため、詳細は各調査の結果報告書を参照。

【子ども】

○自分自身についてどう思うか
(13-18歳)

| | | サンプル数 | 思う | 思わない | 無回答 |
|-----------------------------|-----|-------|-------------|-------------|-----------|
| 良いところばかりではないが、 自分のことが好きだ | H21 | 1128 | 600 (53.2%) | 509 (45.1%) | 19 (1.7%) |
| | H25 | 1098 | 719 (65.5%) | 366 (33.3%) | 13 (1.2%) |
| | H30 | 988 | 655 (66.3%) | 326 (33.0%) | 7 (0.7%) |
| 自分を大切に思ってくれる人がいる | H21 | 1128 | 954 (84.6%) | 159 (14.1%) | 15 (1.3%) |
| | H25 | 1098 | 969 (88.3%) | 114 (10.4%) | 15 (1.4%) |
| | H30 | 988 | 891 (90.2%) | 90 (9.1%) | 7 (0.7%) |
| 自分は人から必要とされている | H21 | 1128 | 763 (67.6%) | 344 (30.5%) | 21 (1.9%) |
| | H25 | 1098 | 761 (69.3%) | 317 (28.9%) | 20 (1.8%) |
| | H30 | 988 | 728 (73.7%) | 252 (25.5%) | 8 (0.8%) |
| ほかのだれかや社会のために 何かをしてあげたい | H21 | 1128 | 945 (83.8%) | 167 (14.8%) | 16 (1.4%) |
| | H25 | 1098 | 953 (86.8%) | 130 (11.8%) | 15 (1.4%) |
| | H30 | 988 | 857 (86.7%) | 125 (12.7%) | 6 (0.6%) |

成果指標

※「思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計。「思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計。
※H21、H25は13-18歳のみ設問、H30も13-18歳を掲載。

○夢中になれる・充実していると感ずること

| | | サンプル数 | スポーツ・運動 | 勉強 | 読書 | 趣味の活動 | 家族と過ごす時間 |
|-------------------------|-----|-------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 夢中になれる・充実していると 感ずること | H21 | 1876 | 960 (51.2%) | 316 (16.8%) | 813 (43.3%) | 1199 (63.9%) | 445 (23.7%) |
| | H25 | 1868 | 928 (49.7%) | 376 (20.1%) | 820 (43.9%) | 1288 (69.0%) | 491 (26.3%) |
| | H30 | 1662 | 846 (50.9%) | 398 (23.9%) | 704 (42.4%) | 822 (49.5%) | 632 (38.0%) |

(複数回答)

| | | サンプル数 | 友達との遊び | マンガ | ゲーム | インターネット | 特にない |
|--|-----|-------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | H21 | 1876 | 1222 (65.1%) | 803 (42.8%) | 900 (48.0%) | 550 (29.3%) | 13 (0.7%) |
| | H25 | 1868 | 1195 (64.0%) | 826 (44.2%) | 919 (49.2%) | 565 (30.2%) | 21 (1.1%) |
| | H30 | 1662 | 1075 (64.7%) | 580 (34.9%) | 910 (54.8%) | 607 (36.5%) | 18 (1.1%) |

○困っていることや悩みごと

| | | サンプル数 | 親との関係 | 友達との関係 | いじめのこと | 学校の先生との関係 | 勉強のこと |
|--------------|-----|-------|------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 困っていることや悩みごと | H21 | 1876 | 102 (5.4%) | 303 (16.2%) | 50 (2.7%) | 71 (3.8%) | 579 (30.9%) |
| | H25 | 1888 | 111 (5.9%) | 294 (15.7%) | 48 (2.6%) | 66 (3.5%) | 600 (32.1%) |
| | H30 | 1662 | 116 (7.0%) | 356 (21.4%) | 60 (3.6%) | 120 (7.2%) | 630 (37.9%) |

(複数回答)

| | | サンプル数 | 部活動やクラブ、習い事 | 異性のこと | 特にない |
|--|-----|-------|-------------|------------|-------------|
| | H21 | 1876 | 147 (7.8%) | 100 (5.3%) | 709 (37.8%) |
| | H25 | 1888 | 159 (8.5%) | 78 (4.2%) | 722 (38.7%) |
| | H30 | 1662 | 206 (12.4%) | 95 (5.7%) | 522 (31.4%) |

○悩みごとの相談相手
(13-18歳)

| | | サンプル数 | 父親 | 母親 | 友達 | 学校の担任の先生 | スクールカウンセラー |
|----------------|-----|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 悩みごとをだれに相談しますか | H21 | 1128 | 174 (15.4%) | 535 (47.4%) | 665 (59.0%) | 142 (12.6%) | 14 (1.2%) |
| | H25 | 1098 | — | — | 669 (60.9%) | 220 (20.0%) | 15 (1.4%) |
| | H30 | 988 | 374 (37.9%) | 655 (66.3%) | 692 (70.0%) | 243 (24.6%) | 35 (3.5%) |

(複数回答)

| | | サンプル数 | 児童会館職員 | ネット上の知り合い | 電話相談員等 | 相談できる人はいない | 誰にも相談しない |
|--|-----|-------|----------|-----------|-----------|------------|-------------|
| | H21 | 1128 | 2 (0.2%) | 61 (5.4%) | 4 (0.4%) | — | 174 (15.4%) |
| | H25 | 1098 | 2 (0.2%) | 57 (5.2%) | 10 (0.9%) | — | 135 (12.3%) |
| | H30 | 988 | 9 (0.9%) | 37 (3.7%) | 18 (1.8%) | 56 (5.7%) | — |

※H25は、選択肢「父・母」: 602 (54.8%)

※H21、H25は13-18歳のみ複数回答、H30も13-18歳を掲載。

○自然・文化など体験しやすいか
(13-18歳)

| | サンプル数 | | 思う | 思わない | わからない | 無回答 |
|----------------------|-------|------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | | |
| 自然・文化・社会体験しやすい環境と思うか | H21 | 1128 | 478 (42.4%) | 443 (39.3%) | 198 (17.6%) | 9 (0.8%) |
| | H25 | 1098 | 651 (59.3%) | 281 (25.6%) | 159 (14.5%) | 7 (0.6%) |
| | H30 | 988 | 662 (67.0%) | 245 (24.8%) | 70 (7.1%) | 11 (1.1%) |

成果指標

※「思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計。「思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計。

※H21、H25は13-18歳のみ設問、H30も13-18歳を掲載。

○参加の状況

| | サンプル数 | | 言える | 言えない | 言いたいことがない | 無回答 |
|----------------------|-------|------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | | |
| 家庭における大事な物事やルールについて | H21 | 1876 | 1214 (64.7%) | 263 (14.0%) | 349 (18.6%) | 50 (2.7%) |
| | H25 | 1868 | 1351 (72.3%) | 219 (11.7%) | 239 (12.8%) | 59 (3.2%) |
| | H30 | 1662 | 1250 (75.2%) | 198 (11.9%) | 200 (12.0%) | 14 (0.8%) |
| 学校行事・イベントの企画や運営について | H21 | 1876 | 1008 (53.7%) | 493 (26.3%) | 324 (17.3%) | 51 (2.7%) |
| | H25 | 1868 | 1083 (58.0%) | 481 (25.7%) | 247 (13.2%) | 57 (3.1%) |
| | H30 | 1662 | 1042 (62.7%) | 378 (22.7%) | 221 (13.3%) | 21 (1.3%) |
| 学校の決まりごとについて | H21 | 1876 | 963 (51.3%) | 458 (24.4%) | 399 (21.3%) | 56 (3.0%) |
| | H25 | 1868 | 981 (52.5%) | 474 (25.4%) | 352 (18.8%) | 61 (3.3%) |
| | H30 | 1662 | 855 (51.4%) | 497 (29.9%) | 288 (17.3%) | 22 (1.3%) |
| 地域で行われている行事などの取組について | H21 | 1876 | 432 (23.0%) | 623 (33.2%) | 762 (40.6%) | 59 (3.1%) |
| | H25 | 1868 | 451 (24.1%) | 658 (35.2%) | 689 (36.9%) | 70 (3.7%) |
| | H30 | 1662 | 339 (20.4%) | 600 (36.1%) | 697 (41.9%) | 26 (1.6%) |
| 札幌市政について | H21 | 1876 | 298 (15.9%) | 687 (36.6%) | 833 (44.4%) | 58 (3.1%) |
| | H25 | 1868 | 296 (15.8%) | 703 (37.6%) | 795 (42.6%) | 74 (4.0%) |
| | H30 | 1662 | 212 (12.8%) | 671 (40.4%) | 753 (45.3%) | 26 (1.6%) |

※「言える」は、「言うことができる」「だいたい言うことができる」の計。「言えない」は、「あまり言うことができない」「言うことができない」の計。

○子どもの権利の認知度

| | サンプル数 | | 聞いたことがあり、内容もある程度知っている | 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている | 聞いたことはあるが、内容はわからない | 聞いたことはない | 無回答 |
|---------------------|-------|------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--------------|-----------|
| | | | | | | | |
| 子どもの権利について聞いたことがあるか | H21 | 1876 | 133 (7.1%) | 108 (5.8%) | 425 (22.7%) | 1185 (63.2%) | 25 (1.3%) |
| | H25 | 1868 | 58 (3.1%) | 160 (8.6%) | 532 (28.5%) | 1081 (57.9%) | 37 (2.0%) |
| | H30 | 1662 | 148 (8.9%) | 243 (14.6%) | 629 (37.8%) | 613 (36.9%) | 29 (1.7%) |

※H21、H25は「子どもの権利条例について聞いたことがあるか」と質問。

○子どもアシストセンターの認知度

| | サンプル数 | | 利用したことがある | 知っているが利用していない | 名前だけ聞いたことがある | 知らない | 無回答 |
|-----------------|-------|------|-----------|---------------|--------------|-------------|-----------|
| | | | | | | | |
| 子どもアシストセンターの認知度 | H21 | 1876 | 28 (1.5%) | 1031 (55.0%) | 317 (16.9%) | 481 (25.6%) | 19 (1.0%) |
| | H25 | 1876 | 31 (1.7%) | 1110 (59.4%) | 298 (16.0%) | 412 (22.1%) | 17 (0.9%) |
| | H30 | 1662 | 14 (0.8%) | 642 (38.6%) | 377 (22.7%) | 573 (34.5%) | 56 (3.4%) |

○子どもの権利が大切にされているか
(13-18歳)

| | サンプル数 | | 大切にされている | 大切にされていない | わからない | 無回答 |
|---------------------|-------|------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | | |
| 子どもの権利が大切にされていると思うか | H21 | 1128 | 545 (48.3%) | 241 (21.4%) | 333 (29.5%) | 9 (0.8%) |
| | H25 | 1098 | 626 (57.0%) | 147 (13.4%) | 308 (28.1%) | 17 (1.5%) |
| | H30 | 988 | 672 (68.0%) | 82 (8.3%) | 213 (21.6%) | 21 (2.1%) |

※「大切にされている」は、「大切にされている場合が多い」「どちらかといえば大切にされている場合が多い」の計。

「大切にされていない」は、「大切にされていない場合が多い」「どちらかといえば大切にされていない場合が多い」の計。

※H21、H25は「子どもの権利が守られていると思うか」と質問。

※H21、H25は13-18歳のみ設問、H30も13-18歳を掲載。

【大人】

| ○自然・文化など体験しやすい環境か | | サンプル数 | 思う | 思わない | わからない | 無回答 | 成果指標 |
|----------------------|-----|-------|--------------|-------------|-------------|-----------|------|
| 自然・文化・芸術体験しやすい環境と思うか | H21 | 1970 | 1091 (55.4%) | 548 (27.8%) | 304 (15.4%) | 27 (1.4%) | |
| | H25 | 1687 | 925 (54.8%) | 457 (27.1%) | 286 (17.0%) | 19 (1.1%) | |
| | H30 | 1589 | 1154 (72.6%) | 314 (19.8%) | 101 (6.4%) | 20 (1.3%) | |

※「思う」は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計。「思わない」は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計。

| ○子どもの権利の認知度 | | サンプル数 | 聞いたことがあり、内容もある程度知っている | 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている | 聞いたことはあるが、内容はわからない | 聞いたことはない | 無回答 |
|---------------------|-----|-------|-----------------------|-----------------------|--------------------|-------------|-----------|
| 子どもの権利について聞いたことがあるか | H21 | 1970 | 98 (5.0%) | 211 (10.7%) | 695 (35.3%) | 933 (47.4%) | 33 (1.7%) |
| | H25 | 1687 | 58 (3.4%) | 206 (12.2%) | 648 (38.4%) | 759 (45.0%) | 16 (0.9%) |
| | H30 | 1589 | 68 (4.3%) | 190 (12.0%) | 711 (44.7%) | 559 (35.2%) | 61 (3.8%) |

※H21、H25は「子どもの権利条例について聞いたことがあるか」と質問。

| ○子どもアシストセンターの認知度 | | サンプル数 | 利用したことがある | 知っているが利用していない | 名前だけ聞いたことがある | 知らない | 無回答 |
|------------------|-----|-------|-----------|---------------|--------------|--------------|-----------|
| 子どもアシストセンターの認知度 | H21 | 1970 | 12 (0.6%) | 319 (16.2%) | 376 (19.1%) | 1217 (61.8%) | 46 (2.3%) |
| | H25 | 1687 | 16 (0.9%) | 268 (15.9%) | 371 (22.0%) | 1002 (59.4%) | 30 (1.8%) |
| | H30 | 1589 | 6 (0.4%) | 319 (20.1%) | 212 (13.3%) | 986 (62.1%) | 66 (4.2%) |

| ○子どもの権利が大切にされているか | | サンプル数 | 思う | 思わない | わからない | 無回答 |
|---------------------|-----|-------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 子どもの権利が大切にされていると思うか | H21 | 1970 | 954 (48.4%) | 302 (15.3%) | 681 (34.6%) | 33 (1.7%) |
| | H25 | 1687 | 829 (49.1%) | 203 (12.0%) | 636 (37.7%) | 19 (1.1%) |
| | H30 | 1589 | 781 (49.2%) | 259 (16.3%) | 509 (32.0%) | 40 (2.5%) |

※H21、H25は「子どもの権利が守られていると思うか」と質問。

<指定項目のクロス集計>

前回の会議(H31. 3. 13)で挙げた指定項目のクロス集計結果について掲載。

- ① 「友達」への意識（理解者／相談相手／傷つけやすい人）
- ② 子どもを取り巻く課題としての回答項目の組合せ

①友達への意識

【子ども】（子ども問6「理解してくれる人」・問14「悩みごとの相談相手」、n=1,662）

（子ども問11「自分を言葉や力で傷つけやすいと感じる人」とのクロス集計）

（「自分を言葉や力で傷つけやすい人」として「友達」を選んだ子どものうち、6割以上が「理解してくれる人」「悩みごとの相談相手」としても「友達」と回答している。）

| (複数回答) | | 理解してくれる人 | | | | | | | | | 実数(割合%) |
|------------------|-----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | | 全体 | 父親 | 母親 | 友達 | 近所(地域)の大人 | 学校の担任の先生 | 児童会館職員 | ネット上の知り合い | そういう人はいない | |
| 言葉や力で傷つけやすいと感じる人 | 父親 | 134 (100.0%) | 55 (41.0%) | 104 (77.6%) | 101 (75.4%) | 8 (6.0%) | 40 (29.9%) | 3 (2.2%) | 8 (6.0%) | 6 (4.5%) | |
| | 母親 | 140 (100.0%) | 72 (51.4%) | 89 (63.6%) | 106 (75.7%) | 12 (8.6%) | 42 (30.0%) | 3 (2.1%) | 6 (4.3%) | 12 (8.6%) | |
| | 友達 | 460 (100.0%) | 275 (59.8%) | 366 (79.6%) | 326 (70.9%) | 34 (7.4%) | 187 (40.7%) | 14 (3.0%) | 20 (4.3%) | 24 (5.2%) | |
| | 近所(地域)の大人 | 14 (100.0%) | 8 (57.1%) | 9 (64.3%) | 7 (50.0%) | 1 (7.1%) | 7 (50.0%) | 1 (7.1%) | 0 (0.0%) | 3 (21.4%) | |
| | 学校の先生 | 142 (100.0%) | 88 (62.0%) | 116 (81.7%) | 107 (75.4%) | 4 (2.8%) | 24 (16.9%) | 3 (2.1%) | 10 (7.0%) | 11 (7.7%) | |
| | 施設等職員 | 10 (100.0%) | 6 (60.0%) | 8 (80.0%) | 8 (80.0%) | 1 (10.0%) | 4 (40.0%) | 1 (10.0%) | 0 (0.0%) | 1 (10.0%) | |
| | ネット上の知り合い | 32 (100.0%) | 17 (53.1%) | 24 (75.0%) | 23 (71.9%) | 1 (3.1%) | 8 (25.0%) | 0 (0.0%) | 8 (25.0%) | 2 (6.3%) | |
| | そういう人はいない | 869 (100.0%) | 612 (70.4%) | 756 (87.0%) | 680 (78.3%) | 70 (8.1%) | 367 (42.2%) | 36 (4.1%) | 18 (2.1%) | 30 (3.5%) | |

| (複数回答) | | 悩みごとの相談相手 | | | | | | | | |
|------------------|-----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|------------|
| | | 全体 | 父親 | 母親 | 友達 | 近所(地域)の大人 | 学校の担任の先生 | 児童会館職員 | ネット上の知り合い | いない |
| 言葉や力で傷つけやすいと感じる人 | 父親 | 134 (100.0%) | 32 (23.9%) | 97 (72.4%) | 88 (65.7%) | 3 (2.2%) | 37 (27.6%) | 1 (0.7%) | 7 (5.2%) | 9 (6.7%) |
| | 母親 | 140 (100.0%) | 51 (36.4%) | 81 (57.9%) | 96 (68.6%) | 5 (3.6%) | 33 (23.6%) | 1 (0.7%) | 7 (5.0%) | 15 (10.7%) |
| | 友達 | 460 (100.0%) | 180 (39.1%) | 322 (70.0%) | 306 (66.5%) | 9 (2.0%) | 147 (32.0%) | 7 (1.5%) | 16 (3.5%) | 28 (6.1%) |
| | 近所(地域)の大人 | 14 (100.0%) | 6 (42.9%) | 9 (64.3%) | 10 (71.4%) | 1 (7.1%) | 5 (35.7%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 1 (7.1%) |
| | 学校の先生 | 142 (100.0%) | 56 (39.4%) | 103 (72.5%) | 95 (66.9%) | 1 (0.7%) | 18 (12.7%) | 1 (0.7%) | 7 (4.9%) | 13 (9.2%) |
| | 施設等職員 | 10 (100.0%) | 4 (40.0%) | 8 (80.0%) | 5 (50.0%) | 0 (0.0%) | 4 (40.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| | ネット上の知り合い | 32 (100.0%) | 11 (34.4%) | 20 (62.5%) | 23 (71.9%) | 1 (3.1%) | 5 (15.6%) | 0 (0.0%) | 9 (28.1%) | 1 (3.1%) |
| | そういう人はいない | 869 (100.0%) | 421 (48.4%) | 662 (76.2%) | 592 (68.1%) | 20 (2.3%) | 285 (32.8%) | 19 (2.2%) | 17 (2.0%) | 35 (4.0%) |

【大人】(大人問6「子どもにとって何でも話せる相手」、n=1,589)

(大人問14「自分を言葉や力で傷つけやすいと感じる人」とのクロス集計)

(「子どもを言葉や力で傷つけやすい人」として「友達」を選んだ大人のうち、6割以上が「子どもにとって何でも話せる相手」としても「友達」と回答している。)

実数(割合%)

| (複数回答) | | 子どもにとって何でも話せる相手 | | | | | | | | |
|------------------|-----------|-----------------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|------------|-----------|
| | | 全体 | 父親 | 母親 | 友達 | 近所(地域)の大人 | 学校の担任の先生 | 児童会館職員 | ネット上の知り合い | そういう人はいない |
| 子どもを言葉や力で傷つけやすい人 | 父親 | 533(100.0%) | 202(37.9%) | 419(78.6%) | 345(64.7%) | 13(2.4%) | 76(14.3%) | 46(8.6%) | 82(15.4%) | 22(4.1%) |
| | 母親 | 533(100.0%) | 228(42.8%) | 404(75.8%) | 352(66.0%) | 13(2.4%) | 81(15.2%) | 45(8.4%) | 89(16.7%) | 24(4.5%) |
| | 友達 | 854(100.0%) | 331(38.8%) | 670(78.5%) | 562(65.8%) | 15(1.8%) | 111(13.0%) | 56(6.6%) | 125(14.6%) | 37(4.3%) |
| | 近所(地域)の大人 | 70(100.0%) | 21(30.0%) | 51(72.9%) | 36(51.4%) | 1(1.4%) | 10(14.3%) | 5(7.1%) | 10(14.3%) | 3(4.3%) |
| | 学校の先生 | 736(100.0%) | 295(40.1%) | 566(76.9%) | 465(63.2%) | 15(2.0%) | 88(12.0%) | 56(7.6%) | 113(15.4%) | 30(4.1%) |
| | 施設等職員 | 47(100.0%) | 18(38.3%) | 32(68.1%) | 32(68.1%) | 1(2.1%) | 9(19.1%) | 4(8.5%) | 6(12.8%) | 3(6.4%) |
| | ネット上の知り合い | 385(100.0%) | 134(34.8%) | 281(73.0%) | 244(63.4%) | 4(1.0%) | 42(10.9%) | 30(7.8%) | 89(23.1%) | 14(3.6%) |
| | そういう人はいない | 47(100.0%) | 17(36.2%) | 39(83.0%) | 26(55.3%) | 0(0.0%) | 7(14.9%) | 1(2.1%) | 3(6.4%) | 4(8.5%) |

②子どもを取り巻く課題としての回答項目の組合せ

【大人】(大人問4「最近の子どもを取り巻く課題として特に重要と思うもの」、n=1,589)

(回答項目の組合せで最も多かったのは、「SNSやインターネット、ゲーム」「いじめ」「児童虐待」、次いで「家庭環境」「いじめ」「児童虐待」となっている。)

<単純集計>

実数(割合%)

| 選択肢 | 回答数 |
|-------------------|-------------|
| 1 自己肯定感 | 149 (9.4%) |
| 2 家庭環境 | 579 (36.4%) |
| 3 教育・進学 | 303 (19.1%) |
| 4 地域とのつながり | 185 (11.6%) |
| 5 社会的自立 | 185 (11.6%) |
| 6 保護者への支援 | 131 (8.2%) |
| 7 SNSやインターネット、ゲーム | 659 (41.5%) |
| 8 ひきこもり・不登校 | 292 (18.4%) |
| 9 いじめ | 656 (41.3%) |
| 10 犯罪・非行 | 167 (10.5%) |
| 11 子どもの貧困・生活上の困難 | 354 (22.3%) |
| 12 児童虐待 | 434 (27.3%) |

(複数回答(3つまで))

<選択傾向(多い順)>

| | 選択肢の組合せ | | | 件数 |
|----|-------------------|-------------------|-------------------|----|
| 1 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 9 いじめ | 12 児童虐待 | 62 |
| 2 | 2 家庭環境 | 9 いじめ | 12 児童虐待 | 45 |
| 3 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 8 ひきこもり・不登校 | 9 いじめ | 44 |
| 4 | 2 家庭環境 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 9 いじめ | 38 |
| 5 | 9 いじめ | 11 子どもの貧困・生活上の困難 | 12 児童虐待 | 38 |
| 6 | 8 ひきこもり・不登校 | 9 いじめ | 12 児童虐待 | 37 |
| 7 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 9 いじめ | 10 犯罪・非行 | 27 |
| 8 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 9 いじめ | 11 子どもの貧困・生活上の困難 | 26 |
| 9 | 2 家庭環境 | 3 教育・進学 | 9 いじめ | 25 |
| 10 | 2 家庭環境 | 3 教育・進学 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 23 |
| 11 | 2 家庭環境 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 12 児童虐待 | 23 |
| 12 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | — | — | 23 |
| 13 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 11 子どもの貧困・生活上の困難 | 12 児童虐待 | 21 |
| 14 | 3 教育・進学 | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 9 いじめ | 20 |
| 15 | 2 家庭環境 | 4 地域とのつながり | 7 SNSやインターネット、ゲーム | 19 |
| 16 | 2 家庭環境 | 8 ひきこもり・不登校 | 9 いじめ | 19 |